

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市新田児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3 指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》32,214人 (前年度比 63.6%) 令和元年度 50,680人 平成30年度 57,689人 平成29年度 54,934人
	《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 61,746千円 (55,452千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>4月からの臨時休校中の児童クラブ利用については、多くの保護者の理解をいただき最小限の利用に抑えることができた。利用している児童についても、毎朝学校に職員が赴き、児童一人ひとりの顔を見ながら寄り添い、児童の心の安定安心に努めた。日常的な感染症対策とともに、窓への「遮光ネット」や館庭へ「シャワーミスト」を設置し熱中症への予防を行った。新型コロナ感染症の影響で様々な行事が実施できなくなる中で、対策をとりながら子どもの創造的な活動をできるだけ保証すべく、多くの手立てを講じ対応した。特に多人数になりそうな行事や外部の人が入る様な行事については、コロナ対応を仙台市と協議・相談しつつ計画立案し確認の上実施した。児童クラブ登録児童向けの「防災エンショー」では防災の知識を得るとともに科学的なショーを楽しんだ。「オータムコンサート」は乳幼児親子対象に、常盤木学園の音楽科の生徒による演奏会を実施。ピアノ、マリimba、バイオリンの演奏を楽しむとともに、演奏者にとっても貴重な機会を提供できた。また、SOATの庭のワークショップの「坪沼の自然体験」では坪沼までの交通手段としてバスで、定員を半分にし座席も指定するなど密に配慮した対応をした。坪沼での活動も吟味し、自然を満喫しながらも子どもの創造性を刺激する活動となった。例年行っていた「ハロウィン行事」や「クリスマス会」などのイベントも従来の活動形式にとらわれず、子どもたちの表現欲求を満たしつつ、活動場所を分散し密を避ける工夫により楽しい行事となった。宮城野区の子育て支援拠点事業館として、「新田NOKISITAねっと」のネットワークの基、乳幼児親子の受け入れ時には、支援団体との協働で「産後わらべうたダンス」や季節の行事などを提供し母子ともどもに喜ばれた。衛生的で安全安心の場所の提供と、楽しい時間を過ごせる児童館を心がけ実践できた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、コロナ感染症の影響で緊急事態宣言が4月に発令され、小学校が5月まで休校となったが、休校中も児童クラブの受け入れを行った。この間、乳幼児親子の自由来館及び小学生の自由来館を休止していたが、その後、乳幼児親子の自由来館は6月から平日午前のみ再開し、小学生の自由来館は10月から土曜日のみ再開した。感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力を要した児童館運営となった。</p> <p>子育て家庭支援事業において、保育園や子育て支援団体等との地域の子育て支援に向けたネットワーク「NOKISITAねっと」では、お祭りは見合わせつつも連絡会を開催し、各機関のコロナ禍での支援について報告や意見交換を行い、連携を取った。9月から行事を再開するまでの間にも、地域の乳幼児親子の自由来館時に七夕飾り作りを行ったりなど楽しめる企画を用意して受け入れを行っている。毎年恒例となっていた常盤木高校の音楽コンサートは、楽器や内容を考慮して開催して地域の乳幼児親子に音楽に親しむ機会を提供すると共に、発表の場がなくなってしまっていた高校生にとっても日頃の成果を発表できる機会として喜ばれた。</p> <p>放課後児童健全育成事業では、坪沼での自然体験や館内での砂場ワークショップなど子ども達に豊かな遊びの機会を提供している「SOATOワークショップ」を感染症対策を行いながらの活動を行い、自然とのかかわりを通して子どもも豊かな人間性を育んだ。子ども達の自発的な活動への支援に取り組み、子どもからの発案である「王様ドッチボール」の開催や高学年の子ども達の手作り雑貨を用いた「雑貨屋さん」遊び、ダンスなど発表の場を持ちたいという希望を支援しビデオとステージで発表を行う形での「クリスマス会」を開催した。日常の遊びにおいても子ども達が館長の指導を楽しみに様々な工作に取り組んだり、掃除など職員の手伝いを喜んで行い環境整備に取り組んだりなど、児童クラブでの活動を生き生きと楽しめるような活動を提供した。小学生の自由来館が制限されてしまっている環境においては、児童館便りに「自然観察のコーナー」を設けて子ども達の自然物への興味や関心を引き出せるような内容を工夫し好評を得た。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課